

令和5年度 日本原子力学会 北関東支部 講演会 実施報告

開催日時：令和6年2月28日（水）14:00～16:25

開催場所：Zoom ウェビナー

令和5年度の北関東支部講演会を令和6年2月28日（水）にZoom ウェビナーにて開催いたしました。当日は、59名（Zoom 接続数）と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

講演会のプログラムは以下のとおりです。

～ 原子力を持続可能にするための放射性廃棄物問題への取組み ～

- ① 佐藤 勇 氏（東京都市大学）
興味とともにありたい、核分裂生成物との新しい付き合い方
- ② 深澤 哲生 氏（日本核燃料開発株式会社）
MA分離変換技術の有効性向上のための柔軟な廃棄物管理法の開発
- ③ 野下 健司 氏（日立GEニュークリア・エナジー株式会社）
原子力を持続可能にするための放射性廃棄物問題への取組み
- ④ 染谷 洋二 氏（量子科学技術研究開発機構）
核融合と放射性廃棄物

基調講演では、佐藤勇氏に核燃料サイクルの実現には放射性廃棄物のマネジメントが大切であることと、それ関連する研究開発の一例として白金族合金（Ru-Rh-Pd-Mo-Tc）の有効利用に関する冶金学的研究についてご紹介いただきました。続く講演では、深澤哲生氏に廃液に再生可能な顆粒体としてMA分離変換技術が確立されるまで貯蔵しておく「柔軟な廃棄物管理法」について、野下健司氏に放射性廃棄物の潜在的有害度を低減するためのプロセスの全体像と日立の取り組みについて、染谷洋二氏に日本の核融合原型炉（JA DEMO）の運転中に定期交換で発生する放射化物の管理シナリオ、埋設区分および減容化方策についてお話を伺いました。活発な質疑の中、温暖化対策として再び注目を集めている原子力技術を継続利用するために、放射性廃棄物問題への取り組みが重要であることを改めて認識し、研究開発・技術開発の最新の状況を把握する良い機会となりました。

以上